

## 2003年度秋季大会シンポジウム

## 「東アジア域における環境変化と気候」の報告

## はじめに

浅野 正二\*

日本、中国、韓国などの国々からなる東アジアには、現在、世界人口の約1/4にあたる15億以上の人々が暮らしております。この地域では、20世紀後半に急激な人口増加と社会構造の変革が起こり、現在も世界で最も社会・経済発展の激しい地域となっております。人間活動にともなう自然環境の変化も大きく、その気候への影響も懸念されるどころです。他方、毎年のように、豪雨、洪水、旱魃、大気汚染や黄砂現象の頻発などのさまざまな災害や異常な天候に見舞われております。これらは、この地域に特有な原因により生じることもある一方で、地球温暖化などの全球規模の現象に関連しているかもしれません。そこで、東アジア域における環境変化と、この地域あるいは全球規模の気候変動との関連について考察し、さらには、気候変動や環境破壊のような国境を越えた問題に対する大気科学の役割について議論したいと思い、シンポジウムを企画しました。

本シンポジウムでは、東アジア域に的を絞り、4名の講師の方々から、それぞれ、エネルギー消費と環境問題(明日香壽川)、大気汚染(中島映至)や地表面植生(本多嘉明)および水循環(安成哲三)の変化と気候との関わりについて、最新の知見をご紹介して頂きました。次いで、これらの環境変化につれて、日本、特に東北地方の天候が近年どの様に変化したかについてのコメント(栗原弘一)がありました。ただし、本多先生は体調を崩されてご出席になれなかったので、

同じ職場の梶原康司先生に代理講演を務めて頂きました。これらのご講演を聴講された皆様には、東アジアの環境と気候の変動する様相と問題の複雑さを実感して頂けたのではないかと考えております。

なお、今回初めての試みとして、本シンポジウムを一般にも無料公開にして、この問題について一緒に議論し、また、日本気象学会の活動に理解を深めて頂く場にしたいと考えました。事前に十分な広報活動ができなかったにも関わらず、会員以外の一般からの参加者は、総参加者(約300名)の1割を超え、会員とともに熱心に聴講されました。特に、たまたま参加された中国人研究者から中国の事情についてのコメントがあり、それに対して期せずして拍手が沸き起こったことは印象深いことでありました。また、今回のテーマのような国境を越える問題の研究や観測においては、相互還元型の国際協力を構築することが重要であると、講師の方々が共通して強調されました。この点からも、環境や気候に関する研究を推進していくには、これらの問題に対する専門家以外の人々の理解を得ることも大切になります。他方、学術討論の場である大会シンポジウムを一般に公開することによって、限られた時間内で本来の機能を果たすことはできないのではないかと、との批判も当然あります。事実、本シンポジウムでも講演内容に対する学術討論を十分に深めるまでには、残念ながら至りませんでした。今回の一般公開の試みが成功であったか否かのご判断は、参加された会員の皆様に委ねたいと思います。

最後に、趣旨を理解されて、高度な研究成果を分かり易く話された講師・コメンテータの方々、実施にあたって全面的なご協力をくださった大会実行委員会の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

\* 2003年度秋季大会実行委員、東北大学大学院理学研究科, asano@caos-a.geophys.tohoku.ac.jp

—2004年1月22日受領—

—2004年10月4日受領—

また、私の不手際のために、会員の皆様へのご報告 が遅くなってしまったことをお詫びします。

---

(A Report on the Symposium of the 2003 Fall Assembly of the  
Meteorological Society of Japan)  
“Environmental Changes and Climate in the East Asian Region”

Shoji ASANO\*

\* (Corresponding author) Graduate School of Science, Tohoku University, Aramaki, Aoba-ku,  
Sendai 980-8578 Japan, asano@caos-a.geophys.tohoku.ac.jp

(Received 22 January 2004 ; Accepted 4 October 2004)

Contents

1. Jusen ASUKA : Global Environment issues and international cooperation in the East Asian Region
2. Teruyuki NAKAJIMA : Air pollution in East Asia and its climate effect
3. Yoshiaki HONDA (Read by Koji KAJIWARA) : Vegetation changes over the land surface in East Asia
4. Tetsuzo YASUNARI : Recent change of hydro-climate in East Asia
5. Ko-ichi KURIHARA : Comments : Climate change and variability in the Tohoku District, Japan

---

305 : 402 (気候変動；京都議定書；越境汚染)

## 1. 東アジアにおける地球環境問題と国際協力

明日香 壽 川\*

### 1. はじめに

東アジア地域における開発と環境における最大の課

\* 東北大学 東北アジア研究センター。

© 2004 日本気象学会

題は、そのマグニチュードの大きさから、中国の石炭利用問題といって過言ではない。なぜならば、中国におけるエネルギー源の石炭依存度の高さと、生活水準の向上ともなうエネルギー消費量の急激な拡大が、